

# チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ ㊦が お かが やき ㊦んばる 学校 ㊦う えんだん 「チーム北川」 ～

## 基礎学力の定着を最優先に！ ～併せて、「学習習慣」の確立を！～

本年度、特に力を入れて取り組んでいる3本柱（魅力のある学校・学級づくり，地域とともにある学校づくり，「北川小学校 ABCD」の原則の推進）については，これまでもお伝えしてきました。その1つ目，「魅力のある学校・学級づくり」の具体的な取組は，①子どもに「わかる」「できる」喜びを実感させる，②子どもの自尊感情を育て，意欲を持たせる，③子どもたちが温かな人間関係の中で共に支え合う，の3点です。特に，①子どもに「わかる」「できる」喜びを実感させることは，学力向上においても重要です。

夏休みの終わりに，本年度の全国学力・学習状況調査の結果概要が公表されました。本校の結果概要については，次の通りです。

全体の平均正答率は，国語，算数，理科ともに全国平均を下回っている。

国語A(基礎)では，漢字の「書き」は不正確で，定着が今一步である。登場人物の相互関係を捉えることに課題が見られる。国語B(活用)では，物語文で登場人物の行動をもとにして場面の移り変わりを捉えたり，説明文で目的や意図に応じて，記事に見出しをつけたりすることに課題が見られる。

算数Aでは，小数のかけ算の計算や，分度器を用いて角の大きさを求めたり，180度を超える角の大きさを2直角，3直角などをもとに捉えたりすることに課題が見られた。算数Bでは，割合の比較量と基準量の関係を捉えることが難しく，基準量を求めることに課題がある。また，条件や数値が変更された場面において既習事項を活用しながら問題を解決することに課題が見られた。

理科においては，実験器具の名称や操作の仕方の理解が不十分である。

2学期以降，子どもたちに基礎学力（読み・書き・計算に代表される，すべての学習を成立させる上で必要な基礎的な知識・技能）の定着を図るため，教職員一丸となって取り組んでいるところです。具体的には，次の点に力を入れています。

### ア) 落ち着いて学習する風土を醸成する！

・学習のルール，特に「姿勢」「聞く」「話す」を中心に定着を図る。

### イ) 日々の授業を子どもたちにとってこれまで以上に「わかる」「できる」ようにする！

・学習のめあてや読み取りの視点など，授業のポイントを意識するとともに，家庭学習につなげる。  
・授業の中で，思考力・表現力を育成するため，説明や書く活動を意図的に取り入れた授業を行う。

### ウ) 既習の基礎的・基本的学習内容の定着を図る！

・朝学習，家庭学習の時間を活用して当該学年までの漢字・計算等の定着を図る。朝学習については，教師の指導のもと国語・算数の基礎的・基本的学習内容の反復練習を中心に基礎基本の徹底を図る。（全学年一斉，火曜日：漢字・木曜日：計算）

・児童の習熟状況に応じて個別の支援を図る。

### エ) つまずいた子へのきめ細やかな指導を図る！

・担任だけでなく，担任外の教員を含めた体制による個別指導の時間を確保する。  
・休み時間を活用して個別の指導を行う。



これからも，子どもたちが意欲的に学習し，基礎学力をきちんと身につけることを第一に考えて，教職員一丸となって取り組んで参ります。ご家庭でも，宿題などの「学習習慣」の確立に向けたご協力をよろしくお願いいたします。